

第510回:令和の世よ栄えあれ

5月1日より始まる新元号が、たったいま^{れいわ}“令和”と発表された。

平易で読み易く、瑞気集門を感じさせる、爽やかな年号であり、これを機に日本の社会も経済も、そして相場も運氣上昇といきたいものだ。

けさの読売新聞に、新元号の条件として、①国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つ、②漢字2字、③書きやすい、④読みやすい、⑤これまでに元号や追号で用いられていない、⑥俗用されていない、の6項目が報道されているが、結果的に新元号の令和は、条件を全てクリアーしていたことになる。

100歳を遥かに超える高齢者は別にして、ほとんどの日本人にとって、改元は初めてないし2度目の経験であるが、前回の平成誕生は諒闇の中の発表であり、浮かれた気分にはなれなかったが、今回はまことにおめでたい慶事である。ここで読売新聞が報道した6条件を、もう一度検証してみよう(注:年号と元号とは、正確には異なるのだが、歴史的な回顧もこれから述べる関係で、以下“年号”に統一する。)

先ず①は云うまでもないことで、新年号が平和や繁栄への願いを込めて命名されるのは当然のことだ。

次に②、大化から平成に至る日本の年号247は、僅か72文字しか使われておらず、その大半は2文字で、例外的に奈良時代に“天平感宝”のような4文字年号が5回続いたことがある。因みに日本に1文字や3文字の年号はない。令和の“和”はこれで20回目の登場だが、“令”は初登場の漢字だ。

③④は、近代の明治・大正・昭和・平成だけでなく、歴代年号の多くが、“安元”、“永万”、“天平”といった具合で、小学生でも書ける平易な漢字が使われており、令和もこの伝統を踏襲したことになる。

⑤の重複禁止は事実だろう。日本には“大化”、“白雉”といった年号の他に、“孝徳天皇”、“天智天皇”等の追号(諡号)もあるから、追号との重複にも気を付ける必要がある。おまけに“康熙”、“乾隆”といった中国の年号との重複もダメらしいので、年号の選定に従事する事務官のプレッシャーは大変だったことだろう。因みに平安時代の日本は外国の年号の踏襲におおらかだったようで、唐の“貞観”をそのまま踏襲した例もある。尚、中国の年号の中にも“令”という漢字は見当たらない(“和”は数多く登場するが)。

⑥も当然のことで、いくら理想的な名前でも、“平和”、“平安”、“幸福”など、人口に膾炙している名称は、年号には向かないような気がする。

尚、些末なことだが、役所や銀行などに届け出を提出するとき、生年月日等を書く欄のM・T・S・Hにマルを付けることがよくあり、新年号は、それらとも重複しないRとなった。

ここまでは予想通りだったが驚いたのは令和の出典だ。過去の年号は中国の四書五経から引いており、

明治:【易経】から「聖人南面而聴天下、嚮**明**而**治**」

大正:【易経】から「**大**亨以**正**天之道也」

昭和:【書経】から「百姓**昭**明、協**和**万邦」

平成:【書経】から「地**平**天**成**」

といった具合だったが、今回はなんと本邦の万葉集からの引用だ。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

万葉を代表する歌人の大伴旅人は60歳を過ぎてから太宰府長官に着任し、山上憶良と共に筑紫歌壇の重鎮として数多くの歌を残したが、着任間もなく妻の大伴^{いらつめ}郎女が死去し、その悲しみも癒えぬ早春、中国的な高雅閑麗の趣のある梅花の宴を開いた。

出席者は山上憶良、小野老^{おののおゆ}などの歌人に国司や地元の有力者たち。大伴旅人にとって、必ずしも楽しい時代ではなかったと思われるが、彼は九州の有力者たちをもてなすために、王羲之の蘭亭の序で有名な“曲水の宴”の向こうを張ったイベントを主催した。

令和は、以下のとおり、そのときの漢文風の序文からの引用だ。

太宰帥大伴の卿(注:大伴旅人)の宅に宴してよめる梅の花の歌三十二首。時に初春の**令**月、気淑く**風和**ぐ。梅は鏡前の粉を抜き、蘭は珮後の香を薫らす。

日本の年号が変わることについては中国でも大きく報道されており、これまでの年号は全て中国の四書五経に基づき決められてきたことを、初めて知った中国人も多いようだ。

世界初の年号は前漢武帝の時に定められた「建元」(B.C.140~135)だが、中国では1911年の辛亥革命により清朝が打倒されて、中華民国が成立し、2000年以上も続いた年号は、ラストエンペラー宣統帝の、“宣統”を最後に廃止された。

中国で100年以上も前に消滅した年号が日本で大切に継承されていることを知り、複雑な思いの中国人も多いと聞いている。

もっとも今回は初めて四書五経以外というか、日本の古典作品からの出典となったが。

尚、いま新年号の公式発表から1時間と少し経った13時頃に、この拙文を書いているが、中国最大の検索エンジンで、デジタル経済の雄BAT(=百度、アリババ、テンセント)の一角を占める百度(BIDU:NASDAQ)では、あっという間に日本語の文献も含めた情報を、以下のようにアップしている。

日本政府公布新年号“令和”5月1日起正式啓用。4月1日上午，日本内閣官房長官菅義偉在記者會上正式公布新年号為“令和”。新年号将于5月1日零時開始正式使用。

太宰帥大伴の卿の宅に宴してよめる梅の花の歌三十二首、また序(以下略)

繰り返すが、令和の世よ栄えあれ、すめらみこといやさか。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成31年4月1日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3